

# 第1章

## 記事の抽出方法および分析方法

この章では、研究の進め方について説明する。

### 1. 記事の抽出方法

この研究では、鉄道を題材にメディアが国民意識に与えた影響について調査する。研究対象が第二次世界大戦以前であることを鑑みると、当時存在していたメディアとしては、書籍・ラジオ・新聞が挙げられる。しかし、書籍は1冊の情報量が膨大であるため、経年的、横断的な分析をするには適さない。また、ラジオ番組に関しては、音声データのほとんどにアクセスすることができない。

以上の、特性を鑑みたとき、我々が現実的に分析対象とできるのは新聞のみである事がわかる。そのため、この研究では新聞記事を題材に研究を行うこととする。なお、扱う新聞は、1888年からすべての時代の記事をデジタルアーカイブとして閲覧できる朝日新聞を採用した<sup>2</sup>。また、1888年7月10日からアジア・太平洋戦争終戦(1945年8月15日)の間に、記事の中に「鉄道」の文字が含まれるものは85,561記事と膨大であり、そのすべてを検証することはできないため、ここでは、その中から、以下の要領で抽出した200件のサンプルについてのみを分析することとした。

①「鉄道」の文字が含まれる85,561記事それぞれを日付順に1~85561とナンバリングし、乱数生成ソフトによって記事の抽出優先度を決定する。

②記事の抽出優先度順に各記事を閲覧し、その記事が鉄道に関連する記事であればサンプルとして採用し、そうでなければ不採用とし、抽出優先

---

<sup>1</sup> 朝日新聞の創刊は1872年であるが、本研究では東京版を扱うため1888年からとする。

<sup>2</sup> 「開蔵Ⅱ」(<http://database.asahi.com/index.shtml>)からデジタルアーカイブとしてアクセスすることができる。以後、抽出された記事はすべて「開蔵Ⅱ」を利用したものである。

度次点の記事の閲覧に移る。

なお、「鉄道に関連する記事である」とは、「その記事の伝える内容のテーマが鉄道に関係する出来事であること」を意味する。そのため、以下のような記事は「鉄道に関連する記事である」とは言えない。

- ・位置関係の説明

例)東武“鉄道”沿線で火事があった。

- ・記事の主題がほかにある場合

例)なお、この日、〇〇市長は△△鉄道開通記念式典にも参加している。

③以上を、200件のサンプルが抽出されるまで繰り返す。

抽出した記事は以下の通りである。

	Sample No.	年数	日付	記事名
1	27075	1905年	7月24日	(広告)東京市街鉄道株式会社 乗換切符
2	81159	1937年	9月8日	北支経済安定には金融の疎通が緊要 青木対満事務局次長等現地実務調査/1、北支金融問題の一時的対策 2、北支金融問題の根本対策
3	74067	1930年	3月2日	これは乙な香の物弁当 行楽を前に鉄道省の新案
4	49803	1914年	7月8日	仙石総裁招待会
5	57376	1919年	1月2日	山の手線の脱線椿事 架線修繕車と電車衝突 三時間の不通
6	29932	1906年	8月26日	小倉鉄道創立総会
7	7191	1896年	8月22日	台北鉄道発起
8	15594	1900年	6月4日	軍艦を増派す可し
9	9704	1897年	10月12日	東海道鉄道全通期
10	34312	1908年	4月22日	急行列車大船停車
11	101	1888年	9月7日	日光鉄道
12	27345	1905年	8月20日	一昨日の市参事会(深川本郷区長決定)
13	47085	1913年	3月8日	外債及国債問答 大蔵所管予算会
14	36946	1909年	4月21日	荷馬車に顎を碎かる
15	75849	1932年	1月6日	滿蒙の一頭政治
16	7683	1897年	1月26日	予算分科会 第一科 第四科 第五科
17	60455	1920年	5月11日	仏国と鉄道政策
18	14002	1899年	9月18日	京仁鉄道開通
19	85311	1944年	5月31日	親切職員を表彰 東鉄
20	65223	1922年	12月7日	東人西人
21	4180	1894年	2月10日	佐倉鉄道株式会社創立委員長江川永修移転
22	3253	1893年	1月15日	院内鉄道修正派に反対
23	73030	1929年	5月1日	工務関係の改良費予算 各鉄道局改良事務所の割当額決定す
24	51658	1915年	6月20日	内国電報 長谷川局長帰任(神戸)

25	3515	1893年	3月28日	岐阜の私設鉄道
26	38070	1909年	8月20日	中央西線名古屋延長
27	77831	1933年	8月20日	北満鉄交渉に新代表を派遣 露国立銀行の参与官
28	58340	1919年	5月30日	再び新借款団に就て/社説
29	63769	1922年	2月14日	議会閑話
30	6764	1896年	7月11日	近江鉄道株式会社 近江鉄道株式会社高校 役員上任 広告
31	9980	1898年	7月23日	京釜鉄道及賠償厳談
32	44937	1912年	2月18日	(広告)正誤/17日鉄道院倉庫課広告中汽缶管(鋼又は チャーコール鉄)とある汽缶管(鋼又はチャーコール鉄) の誤り 扱い店
33	77931	1933年	12月16日	鉄道益金繰入、応諾し得ず 三土鉄相反対の論拠
34	38565	1909年	10月10日	塩原電気会社設計
35	33466	1908年	1月16日	満鉄並行線問題 (少々重大となる)
36	67917	1924年	11月3日	待てどもども来ぬ電車<写>
37	82160	1938年	7月19日	青梅鉄道で16人重軽傷
38	73505	1929年	8月29日	検事局の緊張 一大疑獄を予想して
39	22460	1903年	8月9日	京釜鉄道の短期社債
40	68462	1925年	3月6日	東京版/陰悪な情勢 関東水力買収問題 市会が近く迫 つて演説会や強硬談判/後藤子と安田家 想像されて居 る策動 果してこんな裏面もあるか
41	19881	1902年	7月24日	街鉄東電交渉再燃
42	45585	1912年	5月23日	熱海線の再調査
43	37236	1909年	5月28日	購買組合理事の罪悪
44	58377	1919年	6月5日	米鉄管理損失
45	51887	1915年	8月2日	本社浦潮特電 東鉄沿線出水 列車不通
46	70241	1926年	5月12日	財界いろいろ/南洋ゴム総会 東電増灯計画 製粉協 定行悩 十四年度郵貯 上旬鉄道貨物 米製鋼注文残 上海罷業平穩
47	67833	1924年	10月21日	東京版/議長選挙は延期して昨日の東京市会 小弥次を 浴びながら円太郎その他を附議
48	66183	1923年	9月1日	支那紙の日英警備案是非
49	14662	1900年	1月24日	玉川堤官木盗伐
50	16613	1901年	1月24日	一鼎百珍
51	49844	1914年	7月12日	東人西人
52	54951	1917年	7月29日	背広に赤靴で 石井特派大使の出発 東京駅は帝都の 大頭株を網羅した様な盛観
53	81259	1937年	10月11日	事変以来の戦果 艦艇18、飛行機324爆破 海軍側
54	71025	1927年	1月20日	頻々たる年少者の自殺 10年2000円で買われた子 守り娘の鉄道自殺 きのう船橋「兄弟地蔵」の前で 主家は出たが帰る故郷は遠く
55	38309	1909年	9月12日	借款金授受期
56	79164	1935年	7月10日	鉄箒/交通統制
57	17720	1901年	7月17日	九州鉄道開通と不通
58	78523	1934年	9月24日	事故防止に、新に調査委員会 鉄道省の非常対策
59	31309	1907年	2月23日	米国移民法反対(吾移民業者の主張)
60	32764	1907年	8月12日	東鉄重役の凝議

61	43900	1911年	9月14日	無法なる要求
62	62843	1921年	8月20日	元田鉄相発熱 別府に静養中
63	73136	1929年	4月3日	鉄道疑獄 4氏収容 強制処分で
64	11531	1898年	9月5日	今後の経済界如何 物価の前途 金融と金利 産業の 回復如何 貿易の状勢 財政の方針
65	20669	1902年	11月26日	陸軍雑俎
66	44483	1911年	11月18日	陛下御還幸 久留米御発輦 御召艇御移乗
67	36561	1909年	2月28日	吉田川一部埋立却下
68	21363	1903年	4月5日	露国の自国船保護政策
69	38948	1910年	1月13日	東武官鉄の妥協
70	16023	1900年	8月23日	露国通信 満州の紛乱と西伯利亜の動員 聖得彼堡 珠城生
71	70243	1926年	6月26日	新造する砕氷船 沈没した対馬丸の代りに
72	31942	1907年	5月9日	市街鉄道車掌同盟罷業
73	24483	1904年	5月18日	開戦当時旅順の惨状
74	63982	1922年	4月6日	東亞勸業の事業
75	4263	1894年	3月24日	四日市桑名間鉄道
76	73827	1929年	12月7日	未成線中止は、党勢に大影響 与党の幹部、急にあわ てて首相、蔵相に懇請
77	65012	1922年	10月25日	緩急栓
78	64414	1922年	7月11日	米鉄罷業悪化 IWWの参加
79	51266	1915年	4月13日	房総特報／武勲赫々たる鉄道隊 戦功を語る勇士の戒 衣 千葉街の天地歓呼湧く
80	51854	1915年	7月27日	朝鮮共進会計画
81	7880	1897年	2月25日	京仁鉄道権利分配の交渉事情と其謝絶
82	11713	1898年	9月28日	長夜物語
83	69486	1925年	12月6日	財界いろいろ/大株決算 日本綿花配当 鬼怒水電増配 京浜倉庫連合 小田原急行鉄 交換規約改正 独銀利 下不能 英国炭鋳補助 キューバ新糖 審し品目修正 案 紡績委員会
84	72561	1928年	8月12日	満鉄の信託計画 設立準備進む
85	41380	1910年	11月17日	行徳電鉄
86	11031	1898年	6月26日	会社近事彙法 曾我子爵と日鉄社長
87	53747	1916年	9月25日	青鉛筆
88	51545	1915年	5月28日	(広告)東京鉄道管理局 東北 岩越 奥羽線列車時刻 改正
89	28252	1906年	3月9日	鉄国特別委員会
90	61939	1921年	3月14日	米鉄道株暴落
91	59549	1919年	12月8日	ス氏帰米せん
92	54511	1917年	5月2日	電灯案会議 地域及料金協定 全員委員に附託
93	10873	1898年	6月4日	株は釘付
94	78127	1934年	3月8日	3線削除論敗れ、鉄道原案通過す 貴院第6分科会
95	48879	1914年	1月11日	政党と半官事業／社説
96	25557	1904年	10月19日	傷病兵当到着
97	48802	1913年	10月15日	撤兵提議と仏国 日本には有利なり
98	6090	1896年	4月9日	善光寺の大法会
99	21839	1903年	6月2日	街鉄延期派の協議会
100	13362	1899年	6月30日	納会の株式(引緩み)前場 後場 東株また挫折す 金 返鉄道の払込 受渡高 公債小緩み

101	78470	1934年	8月23日	満鉄拉賣線運賃引下げ
102	61400	1920年	10月23日	鮮鉄
103	82135	1938年	7月15日	鉄道野球大会開く
104	28570	1906年	4月11日	伯林電報(日独郵報社取次)ウエスヴキアス噴火
105	31142	1907年	2月2日	貨車の分離衝突(東海道線佐野駅)
106	17105	1901年	4月5日	南阿戦法
107	33319	1907年	10月14日	東鉄株と営業状態
108	50119	1914年	8月20日	支那の態度(小策を廃せ)/社説
109	35923	1908年	10月25日	独逸財政案の不入望
110	50780	1915年	1月14日	亀山新任徳島県知事(台北)
111	33055	1907年	9月10日	(広告)帝国鉄道庁計理部 物品購入入札広告
112	33388	1908年	1月6日	英露鉄道連絡(英露協約の結果)
113	16205	1900年	10月2日	南清特電 独逸の秘密方針
114	38724	1909年	10月26日	伊藤公狙撃さる 藤公即死【大阪】
115	73229	1929年	7月13日	寛城子の電信電話も完全に回収さる
116	23652	1904年	1月30日	日本鉄道会社線によると北海道移民…
117	37446	1909年	8月20日	中央西線は去る七月十五日…
118	56826	1918年	8月19日	ご騷擾 鉄道の影響例年八月は鉄道の旅客、貨物…
119	84062	1941年	7月13日	東亜の問題を衝く 特派記者の現地報告(5)ノ北支の交通と治安(上) 建設に揚る「戦果」 資源開発線も大進軍 鉄道・道路ノ北京にて新延修三
120	647	1889年	7月2日	汽車賃値下 甲武鉄道…
121	75804	1931年	12月20日	兵賊討伐の徹底
122	755	1889年	8月13日	三鉄道会社の競争 九州炭山の…
123	77141	1933年	2月13日	少年職工轢殺
124	28661	1906年	2月13日	鉄道国有案
125	50302	1914年	9月24日	鉄道理事兼任(九月廿三日)
126	50254	1914年	9月15日	市電料金軽減調査
127	74855	1931年	3月7日	鉄道交渉打合せ 昨日、木村高両氏会見
128	52599	1916年	2月7日	有害無益の妥協 仲小路廉氏談
129	40330	1910年	7月13日	九州線の木材運賃
130	65421	1923年	2月22日	外交質問継続 貴院予算総会(夕刊の続)
131	25569	1904年	10月21日	鉄道馬車(佐賀)
132	30612	1906年	10月25日	東北線運賃低減
133	26392	1905年	5月24日	三電鉄の割引六日より
134	82670	1939年	4月20日	魔の関門豆トンネル開通す 鉄相の電鍵一閃 海上に届けと"万歳!"/その瞬間前田さん緊張
135	34935	1908年	7月4日	米原事件と鉄道庁 各方面の動揺
136	53135	1916年	5月27日	朝鮮鉄道局官制改正
137	78287	1934年	5月11日	(広告)三原山登山鉄道
138	47154	1913年	3月19日	十三年式地下鉄道<写>
139	53793	1916年	10月5日	局長東北線視察
140	24031	1904年	3月19日	満州土民の恐慌

141	24858	1904年	7月8日	鉄道速成運動(長野)
142	9578	1897年	9月28日	函樽鉄道社長と北垣氏
143	16828	1901年	2月24日	甲武線停車場増設
144	46731	1912年	10月28日	低利資金中止説/社説
145	44680	1912年	1月11日	汽車雪中に埋没 北海道の大吹雪
146	18593	1901年	11月21日	漫遊記(第16) 営口(牛荘港)の未来 三山生
147	74612	1930年	12月13日	鉄道失業公債 1200万円程度 大蔵省側の容認額
148	29185	1906年	6月15日	本社朝鮮特電 福島次長一行
149	42821	1911年	5月23日	新蘭と生糸 信州製糸家の談
150	53400	1916年	7月20日	宮廷録事/閑院宮小田原御成/有栖川大妃御快癒/石井外相参内/高田文相参内/侍従武官差遣
151	40812	1910年	9月6日	後藤総裁の巡視
152	28448	1906年	3月27日	鉄国公債交附期間
153	6340	1896年	5月17日	上越鉄道株式会社創立事務所株式申し込みを謝絶す
154	79554	1936年	1月7日	起債市場活気づく 大口も楽観
155	20522	1902年	11月1日	内地北海道連帯運輸
156	59731	1920年	1月27日	政友調査総会
157	1645	1891年	4月2日	鉄道の死体
158	8517	1897年	5月18日	台湾島巡視(28)黒崎美智雄
159	69966	1926年	4月30日	(広告)東武鉄道株式会社 決算公告
160	15198	1900年	4月10日	轢死と水死
161	65251	1922年	12月10日	公債緊縮とはあんな程度か 若槻礼次郎氏談
162	13122	1899年	5月22日	経済学協会
163	60162	1920年	3月29日	鉄道雇傭人年金
164	30272	1906年	9月19日	(広告)鉄道作業局経理部 物品購入札
165	77189	1933年	3月16日	満鉄増資委員会
166	77561	1933年	8月1日	内鮮満鉄道連絡協議会 来月15日頃、大連で
167	82542	1939年	3月19日	堰も遂に空し 今年も"官吏の洪水"
168	38979	1910年	1月16日	電灯瓦斯報償契約協商(東鉄兼業課税)
169	22480	1903年	8月11日	電気鉄道取締規則(昨日公布警視庁令第三十二号)
170	14342	1899年	10月22日	黄塵録
171	74164	1930年	4月25日	犬養総裁の質問要点 理論で勝とうとする野党
172	53430	1916年	7月24日	岑氏停戦を命ず 竜濟光將軍逃亡の準備/広西軍湖南保護/北軍考感黄陂に急行/山東督軍後任運動暗闘/陳宦氏北上す/贈与の乗車券を拒む
173	12115	1899年	1月16日	岩越鉄道株主の移檄
174	31509	1907年	3月17日	印度人の鉄道工夫
175	42343	1911年	3月28日	西伯利經由小包郵便
176	47173	1913年	3月25日	四鉄道案可決 多治見線は有望
177	84833	1943年	2月21日	ガス木炭確保 生産予定に達す
178	55421	1917年	11月5日	在露邦商引揚 近く暴動勃発の惧あり
179	57596	1919年	2月10日	支那の現勢/吉会借款本契約 十日より交渉開始
180	48734	1913年	12月4日	八王子瓦斯紛擾

181	51399	1915年	5月1日	先帝陛下思召実現 東清副総裁と連絡
182	76021	1932年	3月1日	満州への農村移住希望者に一言す/前満鉄理事 男爵大蔵公望(寄)
183	84922	1943年	4月8日	(広告)同文書院「土木工学基礎定本 鉄道」「電気化学要論」
184	62040	1921年	3月25日	九州電力合同協議
185	61413	1920年	10月25日	新銀行団の事業 北京に総事務所設立/新銀反対意嚮世論喚起を企図す
186	67730	1924年	10月1日	保留案件ををを除いて整理閣議漸く一段落 重要案の運命と未審議の諸案件 各相漸次歩み寄る/懸案の片づくのは 四日頃の見込/審議済案件の実行手続 第二次整理委員会開く/噂ほどの議論はない 犬養通相談/非難は覚悟 浜口蔵相談
187	78527	1934年	9月24日	架橋工事から人夫墜落
188	39577	1910年	3月29日	高等愚連隊の検挙 詐欺、誘惑らざるなし
189	41044	1910年	9月23日	横商役員会の決議
190	44554	1911年	12月1日	本社上海特電 未曾会有の激戦 漢陽戦況 両軍の武勇 砲弾居留地に落つ 黎元洪の意気
191	56699	1918年	7月25日	所沢航空隊の新隊長河田中佐 門外漢だからミツシリ勉強 鳴滝大佐談
192	37887	1909年	8月8日	安奉線問題の自由解決/社説
193	17739	1901年	7月19日	降雨と鉄道視察
194	60817	1920年	7月18日	満鉄政府引受株
195	61037	1920年	8月16日	新借款団真相 ラ氏の陳述書
196	51348	1915年	4月26日	老人の鉄道自殺
197	40515	1910年	8月9日	大蔵省諸問題 勝田理財局長談 不動産銀行設立問題 国庫制度改正問題 満鉄社債募集
198	20117	1902年	8月25日	官鉄敷設方針変更/社説
199	55856	1918年	2月25日	本野外相伏奏
200	82397	1939年	2月4日	「勤労階級」へ快報 独逸から500人招待

## 2. 分析の方法

メディアの報じる鉄道、特に新聞記事においてどのように報じられており、それが先に定義した「統合」との間にどのような関係があったのかを分析していく。先にも述べたが、メディアは民衆のニュースバリュー等の価値観を掬い上げ、それを規定・再生産する形で記事が作成されている。そのため、新聞上に民衆の「統合」に関する考え、価値観が反映されていると思われるため、新聞記事の分析を行う。まず、分析する新聞記事の期間は1888年から1945年であり、この57年間を抽出された記事数および時代背景を鑑み、(1)1888~1905年、(2)1906~1915年、(3)1915~1930年、(4)1931~1945年の四期に分割した。それぞれの時期について、政治・経済・

軍事的なできごとなど、当時の日本の社会状況を簡単に振り返り、その上で抽出された記事の分析を行う。分析にあたって特に注目したのが、(1)「天皇」「皇族」「臣民」などの言葉が記事内に登場するかどうか、登場した場合はその言葉がどのような文脈で用いられているか、(2)「日常のナショナリズム」<sup>3</sup>の直示を記事内に見出されるかどうか、(3)天皇制国家の確立に伴って新聞記事での報じられ方が、時代によってどのような変化がするのか、の三点である。最後にそれらから読み取れることをまとめという形で記載する。

以下 200 記事に関して四期に分けて分析していく。

---

<sup>3</sup> 国民共同体が確立されそれが自明視されるようになると、共同体を想像することは意識的でなくなり、「無自覚的かつ常識的な意識の枠組みとして埋没していく」こととなる(津田 2016:85)。そのようなナショナリズムをマイケル・ビリッグは「日常のナショナリズム」といい、それを象徴するようなものは日常生活の中に違和感なく紛れているとされている。マスメディアによって報じられるものには、「用いられた基準点(発話者、発話時間、発話の場所)を明確にすることなしには指示対象を確定できない語」(津田 2016:101)である直示(例えば「我国」「われわれ」、また英語の定冠詞“The”が用いられる言葉)が多数使用されている。鉄道が新聞で報じられる際に以上のような直示がどのように用いられているのかをみることで、「統合」がどの程度まで進展したのかを見て取ることができると考えられるため、分析のポイントとした。